

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	元気館障害者デイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 12日		2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 3月 17日		2026年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの体調や家庭での様子をご家族と共有した。特に利用中の怪我や体調の変化には速やかに保護者に連絡する体制をとった。	学校での様子を迎えに行ったときに確認した。連絡帳でも家庭の様子や体調について把握することができた。利用中の様子も連絡帳に記載の上、送迎時に保護者に直接申し送らせていただいた。 利用中の体調の悪化や怪我は保護者に電話連絡し指示を仰ぐようにしている。	当日記録に記載し、事業所内の申し送りで確実にスタッフに周知できるようにする。
2	活動をいくつか用意してこどもが主体的に選べるようにした。こども達が安心して楽しく通所できた。	学校である程度の集団活動や決まった活動、授業を受けた後の利用なので、できるだけ本人が好んでやりたい活動を選べるように配慮した。	内容が偏らないように選択肢を増やし、興味や関心の幅が広がるような工夫は必要である。
3	サービス等利用計画を基に、こどもや保護者のニーズを反映させ、適切なアセスメントを行って個別支援計画を作成した。	利用前に事業所の見学や体験利用を実施する。正式利用の前にはサービス利用前の会議が実施されるので、利用目的の確認をし、個別支援計画を作成する。6か月ごとのモニタリングで意向の確認を続ける。	事業所としてこども向けのアセスメントシートを用意できると良い。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや保護者やきょうだい同士の交流の場を設けられなかった。	保護者から相談があった場合には傾聴し、助言や情報提供は行っているが、より専門的な根拠のある助言ができなかった。 保護者同士の交流の場を新たに作ることが業務上、難しかった。	職員、ご家族と一緒に参加できるような研修の場があると良い。
2	こどもに関わる支援者向けの研修への派遣ができなかった。専門家による助言を受ける機会がなかった。	発達障害に関する研修は年間、いくつかあるがシフトの関係で職員の派遣が難しかった。こどもに特化した研修は少ないと感じる。	職員、ご家族と一緒に参加できるような研修の場があると良い。
3	放課後児童クラブや地域のこども達との交流の場を持つたり、地域住民の方々とふれあう場を設けられなかった。	理解していただくために必要な場とは思いますが、児童クラブで断られて放課後等デイサービスを利用しているこどももいる。どのような交流の場を作れば良いのかわからない。	保育士資格のある方に夏休みなどボランティアとして行事のお手伝いをお願いしたい。